

2026 年度 助産別科Ⅲ期 小児看護学 模範解答

問題番号	模範解答
問題1	1
問題2	3
問題3	3
問題4	3
問題5	2
問題6	4
問題7	3
問題8	4
問題9	4
問題10	4
問題11	4
問題12	4
問題13	2
問題14	2
問題15	1
問題16	4
問題17	2
問題18	3
問題19	2
問題20	1
問題21	4
問題22	2
問題23	2
問題24	4
問題25	2

問題番号	模範解答
問題26	3
問題27	4
問題28	1
問題29	4
問題30	2
問題31	1
問題32	3
問題33	2
問題34	4
問題35	3
問題36	4,5
問題37	2,4
問題38	2
問題39	1
問題40	2
問題41	4
問題42	4
問題43	2,5
問題44	3
問題45	1

記述式解答
問題46

(解答例)

①治療について
 インスリン療法⇒製剤の種類や単位も間違えや打ち忘れがないように、また、注射部位の観察（腫脹や硬結注射部位のずらし方）
 シックデイ対策⇒食欲不振、下痢・嘔吐などで食事摂取量が低下するときも、インスリン注射の中止によりケトアシドーシスにならないように、糖質を含むものを少しでも摂り、こまめに毛っと測定をする。摂取不能時は受診する
 低血糖への対応⇒低血糖症状の自覚（症状と血糖値の関係を知る）と補食（ブドウ糖錠とビスケット類）の携帯

②家庭・学校生活について
 食事⇒食事制限はなく（成長発達に必要）学校給食を食べてよい。カーボンをカウントを実施している場合は、給食の献立からカーボンを計算して追加インスリン量を決める
 生活⇒規則正しい生活を行い感染予防（手洗い・うがいなどの習慣化）
 学校・友達の理解と協力⇒低血糖時の補食や血糖測定、インスリン注射についての周囲への説明と協力